

長久手市中央図書館 事業報告（11月分）

おはなし会

事業名	日時	参加人数
乳幼児向けおはなし会 〔ブックスタート併用日〕 (図書館ボランティア協力)	11/1(木)	65人 対象児 14人
大人のおはなし会〔読書会〕 (吾亦紅)	11/6(火)	15人
おはなし会〔幼児から低学年〕 (吾亦紅)	11/10(土)	29人
乳幼児向けおはなし会 (図書館ボランティア) 保健師育児相談	11/15(木)	14人(3人)
おはなし会〔幼児から低学年〕 (図書館ボランティア)	11/17(土)	7人
ブックスタートおはなし会 (図書館ボランティア協力)	11/17(土)	43人 対象児 9人
えいごのおはなし会 (レディバグ)	11/24(土)	人

閲覧室内企画展示

テーマ	資料内容
クリスマスの本	クリスマスをテーマにした、絵本や読み物など毎年人気の児童書200冊。
おじいちゃん おばあちゃん あのね・・・	敬老の日に合わせ、おじいちゃん、おばあちゃんをテーマにした児童書を80冊選書。「家族ってなんだろう」、「みんながそろう日」、「アニーとあばあちゃん」など。
長寿課とのコラボレーション(長寿課 認知症施策推進総合戦略) 「認知症」	福祉の家で中央図書館の本も交えた「オレンジ棚」(認知症の本の展示)が開始された。中央図書館でも内容・冊数を拡大し、認知症の病気、予防、体験談など、対象も大人から子どもまでに広げて70冊選書。
免疫	本庶佑さんのノーベル生理学賞受賞にあわせて、「免疫」をテーマに選書。「図解 免疫細胞療法」、「ぜんぶわかる血液免疫の事典」など40冊
〔ミニ展示〕読書が大好きになる本そろえました。	読書が好きになるきっかけ作りの1つとして、「本」の成り立ち、読者の手に届くまでをわかりやすく解説した本を10冊選書。「本のことわかる本」、「わくわく図書館」など。
読書週間 「小学生に人気の本」	読書週間に合わせて、小学校で人気があり学校連携司書が推薦する本を40冊選書。

その他

事業名	日時	備考
図書館ボランティアの交流会	11／7(水)	13人
南中学校職場体験学習(2年生)	11／8(木)、9(金)	4人
長久手市中央図書館現代美術展 BIBLIOTECA-ARTE(ビブリオテカ-アルテ)	11／10(土)～11／25(日)	場所:2F ギャラリー
北中学校職場体験学習(2年生)	11／28(水)、29(木)	3人

12月の予定

おはなし会

事業名	日時
大人のおはなし会〔読書会〕 (吾亦紅)	12／4(火)
乳幼児向けおはなし会 〔ブックスタート併用日〕 (図書館ボランティア協力)	12／6(木)
おはなし会スペシャル 〔幼児から低学年〕(吾亦紅)	12／8(土)
おはなし会〔幼児から低学年〕 (図書館ボランティア)	12／15(土)
ブックスタートおはなし会 (図書館ボランティア協力)	12／15(土)
乳幼児向けおはなし会 (図書館ボランティア) 保健師育児相談	12／20(木)
小学生向けおはなし会(ストーリーテリング) (学校連携司書)	12／21(金)
えいごのおはなし会 (レディバグ)	12／22(土)

閲覧室内 企画展示（12月から展示する新規分）

テーマ	内 容
長久手高校とのコラボ企画 生徒おすすめ本とPOP展示(仮)	長久手高校図書部が作成した本のPOPを、一部中央図書館でも展示し、合わせて同校生徒おすすめの本も展示する。
パーティをはじめよう	お祝いの機会が多いこの時期に合わせて、物語・絵本を中心に選書。「不思議の国のアリス」、「まよなかのパーティ」などの児童書を80冊。
〔ミニ展示〕思いが伝わる 手紙の書き方・手作りカードなどの本 をそろえました。	年賀状、手紙の書き方や、カード、封筒などの作り方の本を選書。「てがみはすてきなおくりもの」、「かんたん楽しいてづくりカードBOOK」など23冊。

平成30年度 中央図書館事業 事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備 考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	児童館図書室での貸出事業	・貸出状況が把握されていない。 ・司書による定期的なメンテナンスが必要	・貸出状況調査の実施 ・長久手南児童館をモデル館とし、年間貸出数400冊(平成29年度約360冊)	1.団体貸出本の入替え、対象年齢別に本を棚に配置。 2. 図書室の貸出冊数を記録。	児童館本と図書館本とに分けた月別の貸出冊数を翌月の10日までにもらうこととし、報告を受けた。 青少年児童センターへ団体貸出のための現地調査をし、第一段階として1F乳幼児プレイルーム内の書架整理、団体貸出をしていくこととした。	南児 選書協議 集計と検証(毎月)	南児団体貸出入替	下山児選選書協議	団体貸出入替	西館での配架調整、団体貸出本(含協議)	第2次子ども読書活動推進計画 基本目標Ⅱ-2-(2)							
2	中高生向け特化棚づくり事業	中高生向けの棚の利用冊数が少ない	中高生向けの棚の貸出冊数 年間6,200冊	1.新着図書リストを2ヶ月ごとに作成、掲示。 2.図書館ホームページ内の該当ページを2ヶ月ごとに更新。 3.中学校図書館での情報掲示。 4. 市内の2高校の図書館便りを2ヶ月に1度掲示更新	中央図書館で新しく蔵書化した本のうち、中高生向けの図書をリスト化。 中高生向けの棚の貸出冊数 10/23現在3,708冊	中高生向き新着図書リストの作成、掲示	図書館ホームページ内の該当ページを更新	中学校図書館での情報掲示	高校の図書館便りを掲示	青少年児童センター現地調査								
3	不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数減らす。 (前年度209冊、目標150冊)	1.不明化傾向分析に基づく本の配置換え。 2.本にマーキング(館所蔵を表示) 3.職員の巡回による抑止力強化 4. 返却場所不明本の小型書架の増設(3台) 5.防犯カメラ等の表示貼替え	不明化傾向分析に基づく本の配置換えを継続。 本にマーキング(館所蔵を表示)を継続。 シフト交代時に館内を巡回。 夏休み中はシルバーも巡回。	不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示) 職員等による閲覧	返却場所不明本の小型書架の購入手続き(3台)	防犯カメラ等の表示貼替え	黄ばみ等の点検、位置の変更など	集計と検証(毎月)								
4	延滞対策事業	延滞本が発生している	月次集計時点での延滞冊数を500冊以内とする。	1.15日以上延滞者に督促はがきを毎週郵送 2.長期延滞者宛のはがき色を変更 3.延滞者への注意喚起カードを作成し、窓口で渡す	長期延滞者宛に黄色のはがきを使用開始。 延滞者への注意喚起カードの様式を定め、窓口カウンターにて使用中。	延滞者に督促はがきを毎週郵送(通年)	延滞者への注意喚起カードの作成 / 窓口での配布(通年)	集計と検証(毎月)	668冊	482冊	388冊	256冊	298冊	266冊	309冊			

平成30年度 中央図書館事業 事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備 考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
5	学校図書館の貸出事業	子どもが毎日通う学校の図書館で貸出を増やす必要がある	年間貸出冊数 小学校151,000冊 (H29 147,601冊) 中学校8,900冊 (H29 7,096冊)	学校連携司書による取り組み ◎読書の楽しさ伝授 ・読み聞かせ ・ブックトーク ◎興味や関心に応じた本の紹介 ・子どもの読書相談に応談	読書週間に合わせてテーマ展示を全校で行った。 新刊本の装備等、受入を進めている。 【参考】 1学期末での貸出冊数 小学校57,353冊 中学校 6,694冊	学校での読み聞かせ・ブックトーク 5月5校 小全校 6月小全校 中1校 7月小4校 中全校 8月 9月小4校 中2校 10月小全校 中全校 11月 12月 1月 2月 3月 レファレンス相談 5月5件 6月12件 7月8件 8月 9月36件 10月38件 11月 12月 1月 2月 3月 子どもの読書相談に応談(常時)	※9. 10月は行事(修学旅行、読書感想画等)が多いため相談が増加。	第2次子ども読書活動推進計画 基本目標 1-5-(3)										